

2019年4月19日

会員各位

私立医科大学臨床検査技師会
会長 谷 浩也

2019年度私立医科大学臨床検査技師会活動方針（案）

我々は、会則の定めるところに従い、会員の学術知識および技術向上をはかるとともに会員相互の情報交換を深めることを目的に下記の活動を行います。また、私立医科大学中央検査部技師長会や会員施設ならびに賛助会員と密に連携をとり、ニーズに沿った会員満足度の高い会運営を目指します。

記

※活動内容

1. 2019年度学術集会の開催

日 時：11月9日（土）10:00～

場 所：堀場製作所2階会議室

テーマ：データを診る

内 容：午前中は、一般演題発表と講師にアルフレッサ(株) 試薬機器営業統括部の神
菌修司氏をお招きし「ゲノム医療の現状と今後-大学病院の関わり方-（仮
題）」と題した教育講演を行う。午後は、「データを見る」と題して、これま
で2年継続してきた検査データの見方（今年は、心臓超音波検査、神経筋電
図検査、呼吸機能検査のデータの見方）についてのシンポジウムを開催する。

2. 心臓超音波検査研修会の開催

これまで実施した臨床化学検査勉強会、終夜睡眠ポリグラフ勉強会に引き続き、心
臓超音波検査勉強会（心エコー）を開催する。内容は、心エコーの基礎から症例の見
方までをライブ映像を組み込みながら開催する予定である。

3. 会誌「KAMERADEN」の発行

会誌「KAMERADEN」を例年同様に年2回（3月と10月）発行する。内容は、春号（3
月発行）を前年度学術研修会の特集号、秋号（10月発行）を研修会抄録集合併号とす
る。また、会員からの論文投稿を推進するなど更なる内容の充実を目指す。

4. ホームページの充実

昨年度、完了したホームページリニューアルについて、本年度は賛助会員ページの充実や各種研修会の動画配信等コンテンツの充実を目指す。さらには、会誌「KAMERADEN」のオンラインジャーナル化について具体的検討の開始、研修会のWEB視聴、会員交流ページの作成等を通して、すべての会員がベネフィットを享受できるホームページの構築を目指す。

5. 日本臨床検査自動化学会第51回大会での共催シンポジウムの開催

従来の活動に加えて、日本臨床検査自動化学会第51回大会において以下の通り共催シンポジウムを開催する。

※開催概要

日 時：2019年10月5日（土）13:00～15:00（予定）

テーマ：災害医療と臨床検査～精度はどこまで必要か？～

演 者

- ・萩原 純（日本医科大学 救急医学教室）

「災害時、医師は臨床検査に何を期待するのか ～どうしても知りたい検査項目～」

- ・津田 喜裕（近畿大学病院 中央臨床検査部）

「災害時に精度保証できますか？」

- ・高橋 誠（アルフレッサ(株) ロジスティクス本部 ロジスティクス戦略部 ロジスティクス企画グループ）

「災害時における流通体制について」

6. 会議関係

会議関係は、理事会を9回、編集委員会を2回予定している。また、これ以外に必要な連絡についてはメーリングリスト等の活用を図り、経費節減に努める。

7. その他

以上